



おくやもとむ 奥谷 求 (創志会)

質問した項目

- 地方創生について
- 観光施策について
- 農業施策について

令和時代の希望ある 力強いまちづくりの実現

地方創生事業の検証と 次期計画基本方針

質問

東広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業効果の検証と、次期計画策定に向け3世代を関連付けた人口移動について、それぞれ認識を問う。また、若者を対象とする施策の幅を広げ、総合計画の中に打ち出す考えはないか。

答 弁 / 高垣市長

事業自体の進展に、一定の効果があらわれていると認識している一方で、人の流れを本格的に生み出すには至っていない。人口移動調査について、3世代を対象とする調査は困難で実態を把握できていない。若者世代を対象とする施策については、総合計画の中で充実に努めたい。

観光振興に係る取り組みと推進組織設立

質問

①本市を舞台にした映画を活用した観光客誘致策の進捗状況について問う。②観光客受け入れ態勢の一環としてのWiFi環境の整備計画の内容を問う。③東広島*DMOの設立に向けての作業進捗状況、今後のスケジュールを問う。

答 弁 / 多田副市長 木原産業部長

①西条酒蔵通りの観光客数の増に一定の効果があったものと考えている。②整備手法、効果等も考慮しながら検討していく。また、充実可能な補助制度等の活用も検討したい。③今年度は事業計画の策定、来年度は、DMOに係る形成計画、人材採用等を予定し、令和3年度での設立に向けて準備を進める。

農業の担い手不足解消へ新しい施策推進

質問

①新規就農者への支援策の利用状況と課題を問う。②*スマート農業普及促進事業に取り組んでいるが、就農者への経営分析など意識改革を行うような施策が必要ではないか。

答 弁 / 木原産業部長

①野菜や花きの栽培から販売までの研修をこれまで27名が修了している。本市でも担い手不足の解消が喫緊の課題である。②現在実施している施策の中で取り組んでいく。



* [用語解説] DMO (デスティネーション・マネージメント・オーガニゼーション) 「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、観光地域づくりを実現するための戦略策定、実施をおこなう調整機能を備えた法人。

スマート農業 ロボットやインターネット技術、AI (人工知能) 等を活用した次世代型の農業のこと。省力化や生産性の向上等が見込まれる。



いしはら けんじ
石原 賢治
(市民クラブ)

質問した項目

- スマート化への取り組み
- 働き方改革について
- 汚水処理対策について
- 子どもの貧困対策について

スマート自治体への転換

※RPAの導入について

質問

各自治体でRPAと呼ばれる最先端の*ICTを導入して事務処理を自動化する取り組みが広がっている。導入拡大についての考えとどのような効果を期待するか。

答 弁／西村政策企画部長

業務時間の削減以外に、処理の正確性の向上、予約実行

による定時性の確保、夜間実行による作業の効率化の効果も得られたため、本年10月から全庁導入に向け、準備を進めている。

自治体職場における働き方改革について

質問

働き方改革については一億総活躍社会の実現に向けた労働環境の見直しに取り組むことで労働者にとって働きやす

さを実現することを目的としている。自治体職場にとって真に必要な働き方改革とは何か、またそのために必要なことは何か。

答 弁／高垣市長

多様で柔軟な働き方を選択できる職場環境をつくることによって、職員一人一人が、個々の事情と両立しながら生き生きと働くとともに、生産性の高い仕事を実践し、業務目標もしっかりと達成できるようになることであると考え、そのためには、ゆとりを持って仕事を進めることが重要であると考えている。

子どもの貧困対策計画の策定について

質問

子どもの貧困対策推進法が改正され、新たに市町村にも子どもの貧困対策計画の策定が求められている。子供の貧困対策には学校との連携が必要であるため、教師の多忙化解消は子どもの貧困対策の面からも真剣に取り組む必要があると思う。計画策定の状況と課題の把握について問う。

答 弁／上田子ども未来部長

国の方針に基づき、子ども・子育て支援事業計画に包括して策定する。貧困対策は多岐にわたるため、関係部局が連携し、地域の実情に応じた取り組みを検討し、計画に反映していきたい。また、策定中の学校での働き方改革取組方針に基づいた施策を徹底し、学校での子どもの実態把握にも努めたい。

* [用語解説] RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) ロボットによる業務自動化の取り組みのこと。
ICT (情報通信技術) パソコンだけでなくスマートフォンやスマートスピーカーなど、さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称。



か ね よ し き
加 根 佳 基
(公明党)

質問した項目

- 高屋地区複合施設建設について
- 高齢者自動車安全運転対策について
- 本市公用車にドライブ・レコーダ設置について

高屋地区複合施設 建設について

高屋地区複合施設建設
について

質 問

これまで非常に期待感を持たせるような、建設に前向きな答弁を数多く聞いていますが、整備が全く進んでいないのはなぜか。また複合施設建設の必要性の認識について問う。

答 弁／高垣市長

地域の拠点施設としての機



高屋西地域センター

能や市民の利便性、市民相互の交流によるまちの賑わいに資する施設として考えた場合、

西高屋駅から余り遠くない場所にあることが重要であるが、現在まで、最終的に適地となる場所の選定までには至っていない。高屋西地域センターを核とした複合施設について、できるだけ早く適地を選定し、整備の具体的な手続きを進めたい。

高齢者自動車安全運転 対策について

質 問

本市として、今実施している対策だけではなく、ブレーキ・アクセルの踏み間違い防止装置など最新技術の導入に対する支援などを独自政策として実施する考えはあるか。

答 弁／倉本総務部長

踏み間違い防止装置は、事故防止に有効と認識しているが、装着できる車種に制約があると伺っている。国が新車への自動ブレーキ搭載を義務づける方向で検討しているこ

とを踏まえ、本市における高齢者の交通事故の状況を注視し、警察署等の意見も聞き、対策に取り組みたい。

本市公用車にドライブ レコーダー設置を

質 問

近年、理不尽なあおり運転に関する事件が多発している。市職員は毎日公用車を利用しており、こうした事件に巻き込まれてもおかしくないと考ええる。安全確保のため公用車へのドライブレコーダー設置は必要と考えるが、認識を問う。

答 弁／江口財務部長

既に市長車、議長車、常備消防車両36台及び救急車18台の計56台に設置を進めている。今後も設置を前提として、社会情勢やその動向を注視し、リース車両の更新時などをとらえ、一般の公用車にも順次、計画的に設置を進めたい。



谷 晴美
(日本共産党)

質問した項目

- 防災・減災行政について
- ゴミ行政について
- 幼保“無償化”で給食費負担への対応について
- 上下水道の広域化について

自然災害に強く、子どもにも優しい町づくりを

土砂災害危険箇所全国一に大幅な増額を

質問

砂防ダム予算は現行の予算ベースでは整備完了まで200年かかる。期間短縮のために国に強く働きかけてほしい。

答 弁／加藤都市部長

これまで、国や県に対して砂防ダム等の整備を計画的かつ強力に推進するよう要望

どの悪性物質が生活用水に混入した場合の市の対応は。

答 弁／天神山生活環境部長

万が一処分場を発生源とする地下水汚染が発生した場合、原因者によって直ちに支障の除去または発生の防止のための応急の措置を講ずることが義務づけられており、県へも速やかに報告がある。原因者が改善しない場合は、県の行政指導がなされる。市としては、地下水水質の環境基準値を超過していれば、速やかに周辺住民に対し情報を提供し、飲用井戸使用者に対しては、飲用指導等を実施する。そのため県と密に連携をとっていくこととしている。

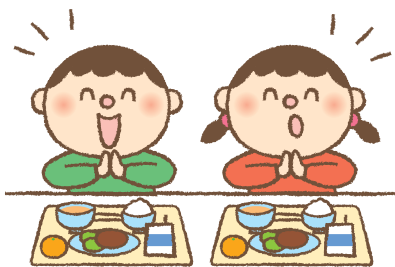
幼保無償化で給食費の負担発生に対応を

質問

給食費の保護者負担を軽減するため、市は財政措置を講じるべきではないか。

答 弁／上田子ども未来部長

国は、低所得者等への対策として、年収360万円未満相当の世帯の児童と、所得に関わらず第3子以降の児童を対象として、副食費を免除することとしている。こうした制度設計により、これまでの保育料よりも保護者の負担額がふえるという逆転現象が起こることはないことから、市独自の負担軽減は実施せず、国の基準に沿った運用を行っていく。





いけだ たかおき
池田 隆興
(清新の会)

質問した項目

- 令和時代の東広島市発展の施策について
- 市営住宅や個人住宅の空き家対策について
- 東広島市の地籍調査について

令和時代の東広島市 発展の施策について

将来の東広島市が
目指す都市像は何か？

質問

令和時代の東広島市が将来最も重要とする施策は何か伺う。特に、現在策定中の第五次東広島市総合計画にどの様に反映されるのか伺う。

答 弁／高垣市長

将来都市像の設定に当たり、本市の恵まれた地域資源と成

長可能性を活かし、「選ばれ

る都市」となるため「イノベーション」の積極的な展開」「未来に対する希望となる、新たな社会モデルの創造」「地域共生社会の実現」「豊かな自然の保全と活用」「国際化のさらなる推進」の5点を特に重視すべき視点として、施策全体の組み立てを行っており、これらを踏まえて、将来都市像の設定に取り組んでいる。

市営住宅や個人住宅の
空き家対策は？

質問

市営住宅の現状と課題で、特に用途廃止住宅の民間への払い下げについて伺う。個人住宅の空き家が増加している中、積極的に空き家対策に取り組むべきであるが見解を伺う。市内の学生にグループで空き家へ入居することを斡旋してはと思うが、併せて伺う。

答 弁／先灘建設部長

市営住宅は「市営住宅ストック総合活用計画・長寿命化計画」により整備等を行っ



ている。用途廃止する住宅は、普通財産として、一般競争入札で処分する。個人住宅の空き家対策は、「東広島市空家等対策計画」を定め、空き家バンクや定住サポートセンターを開設し、情報提供を行っている。学生グループへの斡旋は、有効な解消案とは思いますが、現段階では困難である。

東広島市の地籍調査の
進捗状況について

質問

地籍調査は、土地の売買や相続の登記、公共事業の実施等に重要な所有権・地籍図を把握する重要な調査であるが、本市の進捗状況を伺う。

答 弁／先灘建設部長

本市の地籍調査は、全国平均52%を大きく上回る91%の進捗となっている。未完了地区の西条町・安芸津町・豊栄町について順次実施する。



きたばやし みつあき
北林 光昭
(清新の会)

質問した項目

- 充実した選挙について
- 救急・救命に携わる救急救命士について

投票しやすい選挙を実現するためには

選挙を知ってもらう方法は十分か

質問

春の統一地方選挙・国政選挙を通じて、東広島市の選挙投票率は非常に低かった。ポスター掲示の場所、選挙公報発送の迅速化、日ごろの選挙啓発において、再度、内容を精査すべきではないのか。

答 弁 川崎選挙管理委員会委員長

ポスター掲示場については、公職選挙法に従い、人の目に留まりやすく交通に支障がない場所に設置している。広報発送の迅速化については、期日前投票所に設置した端末で閲覧が可能となるよう検討し、日頃の選挙啓発についても調査・検討を行う。

期日前投票・当日投票所のあり方は

質問

①市内期日前投票所によって、開設期間・時間に差があるが、投票の公平性から改めるべきであり、支所・出張所ではなく、大型スーパー等でも投票できるようにすべきではないか。②投票所当日、免許返納により車の利用ができなくなった高齢者に、送迎の手段を確保すべきではないか。

答 弁 川崎選挙管理委員会委員長

①期日前投票が伸びてきている現状において、期日前投票所の開設期間を一定レベルで統一していくよう検討する。大型スーパー等での投票については課題が多く、調査・研

究していく。②他市で行われている送迎バスの運行は投票所の統廃合が原因であることから、それを本市で行うことは難しい。しかし、期日前投票に対して、コミュニティバス等の利用ができるか調査・研究していく。

救急救命士の配置方針と病院実習は

質問

救急業務の中心的役割を担う救急救命士の配置状況と、資格取得後の病院実習の実態はどのようになっているのか。

答 弁 高垣市長
石丸消防局長

国の救急救命士整備方針に従い、消防局においては75人の救命士が必要であり、現在87人の救命士が在籍している。病院実習の一部は、県内13消防本部で唯一、圏域外である、実習体制が整った尾道市の病院で実施している。



投票箱



た さ か た け ふ み
田 坂 武 文
(令和会)

質問した項目

- 住民自治協議会について
- 東広島市水道事業における耐震化の取り組みについて

住民自治協議会及び 水道の地震対策について

自主防災組織の設立状 況について

質 問

自主防災組織の設立状況と住民自治協議会への働きかけについて伺う。また、全ての地域での設立の目標はいつにされているのか。

答 弁／高垣市長

8月末時点での自主防災組織の設立状況は、47の住民自

質 問

ある住民自治協議会の地域づくり推進交付金の実績報告について、災害復旧事業、敬老事業などの12項目、また、内訳科目の消耗品費、食料費、印刷製本費などについて、千円未満の端数がない。この報告書について、指導監督を行う必要があると思うが、見解を伺う。

答 弁／天神山生活環境部長

事業報告書・決算書を各住民自治協議会の監事が監査され、定期総会において承認を経られた上で、市に提出していただいている。その後、市担当課において「交付金交付規則」で定める交付対象事業に適正に支出されているかどうかを確認しているが、この報告書については、千円単位で整理をされている可能性があり、必要に応じ指導する。

水道局舎・倉庫棟の耐震性について

質 問

地震被害が発生した場合、応急給水や応急復旧の対策本部となる水道局舎・倉庫棟は耐震性を満たしているか？

答 弁／三戸水道局長

平成29年度に耐震診断を行った結果、防災拠点施設としての耐震性能の基準を下回っていることが判明した。水道事業の広域連携の動向により水道局舎の活用方針が左右されることや、耐震補強工事や建替えには多額の費用と時間を要するため、当面保留する。



水道局舎・倉庫棟



たけがわ ひであき
竹川 秀明
(公明党)

質問した項目

■第五次総合計画基本構想の市を取り巻く社会情勢の変化の対応について

未来を開く市の第五次総合計画基本構想とは

持続可能な開発目標「SDGs」の展開

質問

「SDGs」は2030年を期限とした17の目標と169のターゲットを設定している。SDGsとまちづくりについて最も関係の深い目標として目標の11番目「住み続けられるまちづくり」などがある。東広島市の未来を展望して、今後、どのような展開を描いている

のか問う。

答 井／高垣市長

SDGsに掲げられた17の目標は、本市が推進していくべき施策と合致しているものが多く、「持続可能なまちづくり」が多くの自治体にとっての共通の課題となる中、わが国を取り巻く社会経済情勢から生じている様々な課題の解決に向けて、地球環境問題などの国際的観点からも、目

指すべき普遍性を備えた目標であると認識している。策定中の第五次総合計画の中で全庁的に施策に反映する。

地域強化※ソサイエティ5.0の展開

質問

「ソサイエティ5.0」で実現できる社会は、IoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、地域の課題や困難を克服する。また、人工知能AIにより、必要な情報が必要な時に提供され、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などが克服される。社会変革を通して、これまでの閉塞感を打破、世代を超えて互いに尊重し合える社会、一人一人が快適で活躍できる社会の実現が期待できるとあるが、本市での展開を問う。

答 井／多田副市長

交通弱者の移動手段の確保、高齢化による社会保障費の増大、子育て世代流出による少子化の進展、公共施設の更新費用の増大など、市が漠然と捉えていた問題の解明につながり、都市・地区固有のソリューション（解決）につながる明確な道筋を示す可能性を秘めている。住み慣れた地域で何歳になっても活躍できる暮らしを支援し、安心・安全な社会を実現することは地域が輝き、笑顔あふれ、愛され選ばれる東広島市につながる。



SDGsのロゴ

※ [用語解説] SDGs 2015年に国連開催のサミットで決められた国際社会共通の目標。5つのP（①人類people②地球planet③繁栄Prosperity④平和Peace⑤パートナーシップPartnership）に向けた行動計画として掲げたもの。

ソサイエティ5.0 サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会を指す。

IOT 身のまわりのモノがインターネットにつながること。Internet of Thingsの略語。



かぎ やま ひろし
景山 浩

(市民クラブ)

質問した項目

- 地域拠点でのまちづくり施策について
- 主権者意識を高める取り組みについて
- 本市の観光振興策について

住みたい、訪れたい魅力的な町づくりについて

地域拠点での町づくりについて

質問

移住・定住の推進に向けた
①※関係人口・※Cターンの定住サポートセンターの取り組みについて、②空き家・空き地の活用について問う。

答 弁

高垣市長
先灘建設部長

①県外出身の大学生を対象

に関係人口創出に取り組む。東京でのCターンフェアで成果があり今後様々な機会に本市の魅力を発信する。移住希望者の最大関心事は「仕事」であり、求人情報提供を行うしていく。②空き家の利活用を推進する。空き地利活用については国の法改正の動向を注視しながら検討していく。

市政への関心を高める取り組みについて

質問

①選挙公報の配布方法について、②市政に関する出前講座の開催状況について、③教育過程における主権者教育の取り組みについて問う。

川崎選挙管理委員長
津森教育長

答 弁

①個別郵送は全家庭へのポストイングが難しいため、申し出による個別郵送を実施している。②市政に関する出前講座は平成30年度では52講座179件を実施した。③教育過程における主権者教育に関して、学校において数々の取り組みがあり、子どもたちの発達段階に応じた主権者教育の取り組みを充実させていきたい。

観光地としての魅力向上の施策について

質問

①東広島市観光総合戦略の中での酒蔵通りの整備やその他の観光資源の推進について、②東広島版※DMOの推進について問う。

答 弁 / 多田副市長

①酒蔵通りの美装化については令和4年度の実施に向け整備を進める。②東広島版DMOは本市観光に関する多方面の関係者と協議しながら、専門人材の配置を含めて観光の課題を推進できる組織にしたい。



西条酒蔵通り

※【用語解説】関係人口 地域外にあって、特定の地域への継続的な関心と交流を通じ、さまざまな形で地域を応援する人材のこと。
Cターン 広島広域都市圏が人生のCapital、すなわち、都となるようにという意味を込めて頭文字のCを使い、本圏域を「Cエリア」と称している。
DMO 4ページの用語解説をご参照ください。



鈴木 英士 (令和会)

質問した項目

- 大学生に向けた施策について
- 子育て世代への支援策について

大学生や子育て世代に向けた施策の充実を！

子育て世代が集まれる拠点を

質問

子育ての相談だけでなく、子どもが遊べる広場やカフェ機能、交流機能などが一体になった気軽に利用できる拠点が必要と考えるが整備計画はあるか伺う。

答 弁／上田こども未来部長

子育て世代同士が交流可

能な気軽に外出できる場所の整備の必要性は高いと考えている。現在、令和4年の春のオープンを目指して整備が進んでいる（仮称）道の駅西条」の施設内に、カフェスペースに隣接して、親子が遊びながら快適にくつろげる全天候型の屋内施設を設置する計画が進んでいるところである。

子育て支援情報等の発信方法について

質問

子育て中で余裕がないときに、その都度、行政の支援策を調べるのは難しいため、必要に応じてプッシュ通知による情報提供等が必要と考えるが市の考えを伺う。

答 弁／上田こども未来部長

行政からお届けしたい情報が必ずしも子どもの発達段階、年齢に適した時期に十分に届いていないものと認識している。適宜個人の状況に合わせてプッシュ通知により情報発信できるアプリの導入を検討しており、早期の導入を目指す。

大学生が活動しやすい環境づくりを

質問

大学生が地域で活動するハードルを下げる上で交通手段の確保などが必要になると考えられるが、新しく公共交

通を整備すること以外にも、昼間稼働していない自動車などを活用することも必要と考えるが市の考えを伺う。

答 弁／高垣市長

今年度、社会貢献活動やまちづくり活動をはじめとする学生の自主的な活動を応援する補助金を創設し、交通費も対象としている。議員ご指摘のシェアリングエコノミーといったアイデアも参考として、学生や大学の意見を聴きながら、学生が地域参加しやすい環境づくりに努める。



ポーネルンド(民間企業)が運営している子どもの遊び場

※【用語解説】プッシュ通知 情報が利用者の端末に自動的に配信される方式。



さだ いわ たかし
貞岩 敬
(清新の会)

質問した項目

- 平成30年7月豪雨災害の復旧・復興と防災対策について
- 学校教育における新学習指導要領について
- 龍王小学校区について

災害復興と学校教育と 龍王小学校区について

災害復興と防災対策について

質問

①平成30年7月豪雨災害の復旧・復興プランでは、令和2年度末までに完了する予定であるが、進捗状況を伺う。
②緊急告知ラジコを有効に活用するために1日1回以上、行政情報等の試験放送をしてはどうか。

答 弁
高垣市長
倉本総務部長

①災害復旧の着手状況は8月末で14・7%。様々な手法、制度を活用し令和2年度末までに遂行できるよう総力を挙げて取り組む。②緊急告知ラジコの1日1回以上の放送は困難だが、放送内容について、幹線道路の通行止め情報や災害以外の重大な事件・事故の情報発信も行いたい。

新学習指導要領実施と 小学校英語科授業

質問

①新学習指導要領の完全実施にあたっての本市の教育活動の変更点、②小学校の英語科授業の体制について伺う。

答 弁
津森教育長

①新学習指導要領の3つの基本方針「社会に開かれた教育課程の実現」「主体的・対話的で深い学びの実現」「カリキュラム・マネジメントの充実」の実践について、理数教育の充実のために「科学の芽育成講座」を開始した。またプログラミング教育について、先行実施している学校の取り組み実践を市内の学校に広げる。②小学校教員の英語科教員免許取得率は8%だが、外国語指導助手の増員やデジタル教材の活用等で指導体制の整備を図っている。

龍王小学校区について

質問

①県道吉行飯田線の進捗状況、②県道を横断する道路の地元との協議について、③子どもたちの交通安全のための取り組み、④地域センター設立について伺う。

答 弁
松尾副市長
大垣学校教育部長

①令和8年度の事業完了を目標に広島県が整備を進めている。②地域性や安全性を考慮しながら県と市で検討を進めている。③信号機や横断歩道の設置などを行っているが、地域の皆様に見守り活動もお願いしている。④地域の皆様のご意見を伺いながら検討したい。





みやかわ やすこ
宮川 誠子
(真政倶楽部)

質問した項目

■教育の本質を問う

学校の「常識」を問い直す ― 自律的学びとは

学校は子どもを守れて
いるか

質問

現在の学校システムは明治にできたもので、兵士をつくるための「富国強兵」システムを「生産性向上」に変え維持している。大量生産の時代は終わり、社会の求めている人材は変わったが、学校は時代遅れになっている。考えを問う。

答 弁 / 津森教育長

多様化する教育へのニーズや子どもの実態への対応において、現在の授業システムに改善の必要性があることは否めない。新たな教育スタイルを取り入れ一人一人の子どもに合った生き方や才能を見つけ、伸ばすことは、これからの学校の役割だと考える。
宿題をなくした公立中学校の改革

質問

千代田区立麹町中学校の工藤校長は、手取り足取り教えることは子どもの自律の弊害になるとの観点から、学校の常識をやめた。宿題には「わからない」を「わかる」にする効果はなく、「子どもの評価」という教師の都合で行われており、無駄であるとして廃止した。考えを問う。

答 弁 / 津森教育長

各学校では年齢が上がるにつれ、家庭学習の内容も、みずから内容を決める自律的なものを含めている。毎日の宿題がなくなれば子どもたちの生活にはゆとりはふえるとは思いますが、どの子にもプラスに



なるかどうか、家庭での生活リズムや習慣に課題があるケースも含め、正直なところ疑問も感じるところである。
学校は何のためにあるのか

質問

工藤校長は、「学校は子どもたちが社会でよりよく生きていけるようにするためにあり、そのためには、自ら考え、自ら判断し、自ら決定し、自ら行動する資質、すなわち自律する力を身に付けさせる必要がある」と言われている。学びの本質と思うが、如何か。

答 弁 / 津森教育長

答えが一つでない問題について考え、話し合い、みんなが今求められている。大学や研究機関と小中学校の教員の共同により、自律的な学びにつながる豊かな学びの実績をつくっていききたい。

※【用語解説】 納得解 絶対的な正解が無い課題に対し、自分や集団が納得できるような解決案のこと。



なかがわ おさむ
中川 修
(市民クラブ)

質問した項目

- 中小企業活性化支援事業について
- 一般廃棄物処理事業について

東広島市の 仕事と暮らしについて

中小企業活性化支援事業 業について

質問

東広島ビジネスサポートセンター「Hi・Biz」（ハイビズ）は、中小企業を対象とし、ハンズオン（伴走型）支援をするところだが、どのような支援を行っているのか。

答 弁／高垣市長

「相談員の高い専門性」、「

組みはあるのか？」

答 弁／高垣市長

他の自治体は単独で設置、運営する形態となっているが、本市は東広島商工会議所に運営を委託することで、双方の連携による相談窓口を設置できることから、支援の幅を広げることができる。また、イノベーション創出拠点である※ミライノ⁺にも隣接していることから、新しい事業が次々と生まれる事業の創出に向けた取り組みにも参画でき

広島中央エコパーク 稼働に向けて

質問

広島中央エコパークが2年後稼働することにより、これまで燃焼していた廃棄物が、溶融されることになる。これに伴い、ごみの分別も見直す必要があると思うが、計画はあるのか。

答 弁／天神山生活環境部長

現在、広島中央環境衛生組合の構成市町2市1町により、「広島中央エコパークの供用に伴うプロジェクトチーム」を発足させ、ごみ分別方法について検討を重ねているところである。リサイクルできるものは引き続きリサイクル処理を行い、市民にとってできるだけ分かりやすく、負担軽減につながるような分別方法等となるよう検討を進めていき、今年度末までに方向性を示したい。



広島中央エコパークイメージ図

※【用語解説】ミライノ⁺ 東広島市の産業創出拠点の名称。場づくりによる人材交流の活性化と新しいアイデアの創出を目的とし、令和元年11月に西条岡町に開所した。



うしお ようこ
牛尾 容子
(令和会)

質問した項目

■地域包括ケア体制推進事業 認知症施策について

認知症になっても安心して暮らせる東広島を

認知症サポーター養成講座講師支援

質問

本市には独自の認知症サポーターキャラバンの*キャラバンメイト連絡会がないため、サポーター養成講座などの情報がキャラバンメイトに伝わっていない。*LINEグループなどで情報提供を行えば活動していないキャラバンメイトも活動しやすくなる

のではないか。

答 弁／梶永健康福祉部長

本市では*オレンジ交流会がキャラバンメイトの交流や情報共有を行う場としての役割を有しているが、今後はLINEグループ等も含め、市からの情報発信を充実させ、キャラバンメイトが地域で活躍できる環境づくりに努めていきたい。

市民に身近な認知症力フエを増やそう

質問

認知症力フエは、認知症の人の居場所として、また、家族などの介護者が気軽に相談し仲間づくりができる場として、ニーズが高いが、本市では4力所と他市に比べて少ない。市民の認知度も低く、啓発・広報が必要と考えるが、市の見解を伺う。

答 弁／梶永健康福祉部長

認知症力フエの普及が進んでいないことは課題として認識している。来年度末までに市内に10力所の開設を目標に掲げ、土壌づくりに取り組んでいる。既存の認知症力フエ



認知症にやさしい本棚

の効果を検証しつつ、その普及に努めたい。

認知症にやさしい図書館事業について

質問

全国で、認知症の人や地域の人へ認知症について希望の持てる情報提供が出来る「認知症にやさしい図書館」を作る動きがある。認知症力フエなど交流の場としての図書館機能も必要と思うが、市の見解を伺う。

答 弁／國廣生涯学習部長

本市図書館では、保健師と連携した認知症に関する本の特集展示や、地域包括支援センターと連携した認知症サポーター養成講座、出張おはなし会での認知症に関する本の読み聞かせなどを実施している。認知症も含めて、全ての人に優しい図書館を目指して、図書館スタッフのスキルの向上を図っていく。

*【用語解説】キャラバンメイト LINEグループ オレンジ交流会
認知症サポーター養成講座の講師役を務める人材のこと。
スマートフォンなどで利用できるSNSサービス「LINE」において、複数人でメッセージ等のやりとりができる機能のこと。
認知症の人が尊厳を持ち、地域で安心して暮らしていける環境を整えることを目的に、医療関係者、地域の相談役、キャラバンメイト等が行う交流会のこと。



かたやま たかし
片山 貴志
(創生会)

質問した項目

- 市民が安心安全に暮らせる街について
- 子供を育てる環境について
- スポーツ振興について

未来に希望を持ち続けられる街であるために

下水道の整備及びコミュニティプラント

質問

黒瀬地区の下水道工事の進捗状況及び老朽化した住宅団地大型浄化槽に対して、本市の今後の対策について問う。

答 弁／森行下水道部長

黒瀬地区の公共下水道整備については、整備済み面積が155・1ヘクタールで、整備率

は38・8%となっている。未整備区域については、一部事業を優先的に進めながら、令和17年度の概成を目指す。また、住宅団地の大型浄化槽については、老朽化への修繕等に対する補助制度を創設している。これまで5団地から補助申請を受け付けており、対象となる団地の浄化槽について支援を行っていききたい。

医療環境の改善について

質問

コンビニ受診や子育て時の医療機関の受診方法の対策について、また、医師不足・看護師不足の現状と対策について問う。

答 弁／梶永健康福祉部長

コンビニ受診については、平日のかりつけ医での受診、夜間や休日の事前の相談ダイヤルの利用など適正受診の呼びかけを行う。子育て世代に対しては、乳児全戸訪問事業などを利用しての呼びかけや啓発グッズで適正利用を促す。医師不足・看護師不足については、研修医への奨励金や二次救急輪番制病院への補助、看護師の就業に関する相談セミナーや潜在看護師の掘り起こしなどにも取り組んでいる。

東広島市内の運動施設について

質問

東広島運動公園陸上競技場の早期の使用再開、夜間照明の設置の可能性及び各スポーツ施設に対するネーミングライツを含む利用促進について本市の見解を求める。

答 弁／加藤都市部長

陸上競技場のトラック舗装部分については、年度末の工事完成後から段階的に利用できるよう調整していきたい。夜間照明については、高額な費用を必要とするため、現時点での対応は難しい。ネーミングライツについては、他市町の同規模施設での導入状況を把握し、検討を行っていく。



東広島運動公園
陸上競技場